



総務委員会

総務委員会は各ブロック長(単位PTA会長)と教職員代表の先生とで構成されたメンバーです。活動として、年数回ある常任委員会(会長会)の司会進行、ブロック会、人権学習会、定期総会などの運営をしてきました。

活動された主なメンバーは各単P会長と兼務されており、市P連活動と並行していく事は大変だったと思います。委員会の中では会としての運営について、打ち合わせ、意見交換など協力体制を整えながら取り組んでいきました。

- 委員長・羽津中P 陽平 (副委員長・三滝中P) 由恵(中部西小T) 櫻井八十美(保々小P) 堀川 雅夫(羽津中P) 大野 武毅(中央小P) 天野 美保(日永小P) 谷 和憲(県小P) 笠田 幹人(塩浜中T) 杉戸 雅巳 (市P連会長・笹川西小P)



小学校委員会・中学校委員会

小学校委員会・中学校委員会は本年度、新たな試みとして、子どもとの関わり方について専門的な話を聞く機会を作ろうと、合同で講演会を企画し、その準備に取り組んでまいりました。そして、平成28年11月12日(土)四日市市文化会館・第三

ホールにおいて、心理カウンセラーの水野優子さんを講師にお迎えし、講演会を開催することが出来ました。短い期間でしたが、皆で一つのことを成し遂げた経験は、とても貴重なものとなりました。小学校委員・中学校委員の皆さんの温かいご協力に、心より感謝いたします。

一年間本当にありがとうございました。

- 小学校委員会 堀川 智也 (委員長・下野小P) 岸田 諭祀 (副委員長・中部西小P) 森 江美子(八郷小P) 森 剛史(橋北小P) 大久保 直(浜田小P) 村木 聡美(泊山小P) 伊藤 美絵(三重小P) 矢田 圭毅(内部小T)



- 中学校委員会 仁和 有子 (委員長・三重中P) 古川 優喜 (副委員長・山手中P) 松井 久和(富洲原中P) 伊藤 徳二(橋北中P) 伊藤 多恵(常磐中P) 永谷 直子(西笹川中P) 川上 太郎(桜中P) 牛江 芳将(富田中T)



幼稚園委員会

幼稚園委員会は、委員長と幼稚園委員、教職員代表の計七名で活動しています。

年六回の委員会は各委員の幼稚園の一室をお借りして行いました。11月1日(火)に市内公立幼稚園の代表の方々に参加して頂き幼稚園交流会を開催致しました。美り多き幼稚園生活の参考のひとつとして頂けたら嬉しく思います。幼稚園園だよりも是非ご覧下さい。

一年間、皆で協力しながら楽しく活動させて頂くことが出来ました。ありがとうございました。

- 宮越 祥代 (委員長・高花平小P) 井上 悠加(大矢知幼P) 加納 絵美(海蔵幼P) 小澤明日香(四日市幼P) 甲斐 敦子(泊山幼P) 荒井 千春(三重幼P) 山崎 博子(山手中T)



広報委員会

広報委員会の主な活動はこの市P連ニュースの発行と広報紙コンクルの開催です。それに向けての最初の活動として、昨年五月に「広報紙づくり」研修会を開催いたしました。たくさんの方々にご出席いただきました。

コンクルには今年度も魅力いっぱい広報紙を多数ご応募いただきました。どの作品も子ども達の生き生きとした様子や学校の雰囲気や伝わる、素晴らしいものばかりでした。

- 委員の方々のおかげで一年間の活動を無事終える事が出来ました。ありがとうございました。 横山 直子(委員長・港中P) 伊藤紅己子 (副委員長・富洲原中P) 寺本 幸世(西朝明中P) 大塚 麻矢(海蔵小P) 小宮真理子(塩浜中P) 高宮枝美子(南中P) 松尾 香(桜小P) 石原 香(三重西小T)



教職員委員会

市P連には、教職員として公立幼稚園、小中学校の代表がメンバーとして入り、活動しています。ブロックごとに選出された教職員の代表が、それぞれの委員会に所属し、学校現場の視点から、情報発信をしたり、意見交換をしたりしています。

PTAのPは、保護者、Tは、教職員。その両者が、教育の民主化を願って発足したと聞いています。民主化は少し大げさなのかも知れませんが、PもTも役割やアプローチは違うけど、「四日市市のすべての子どもたちが健やかに成長していって欲しい。」という願いをもって活動する組織であることを改めて感じました。

激動の時代ではありますが、これからも子どもたちのために、保護者・地域・教職員がしっかりとつながり、同じ方向を向いて、ともに前進していきたいと思えます。

- 岡田 由恵 (委員長・中部西小T)

顧問

市P連顧問としてご尽力いただきました。鋭いご助言温かいご指導を頂き、一年間ありがとうございました。

- 今村 新次(中部中学校長) 鳥羽 克也(下野小学校長) 刑部 純子(羽津幼稚園長)



幼稚園交流会

平成28年11月1日(火)四日市文化会館にて、幼稚園交流会が開催されました。

交流会では「幼稚園行事の情報交換」「降園後の過ごし方をテーマに5グループに分かれて話し合いをしました。話し合いでは、幼稚園児を育てる保護者として様々な意見を頂くことができました。

どのグループも最後まで熱心に話し合われ有意義な情報交換ができたと思います。

今後、子ども達の健やかな成長と笑顔のために、よりよい活動を行っていきけるよう工夫していきたく思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



家庭の目講演会

子は育ち、親も育つ。 楽しまなくちやもつたない 講師 育児漫画家 高野 優さん



エイジ(児童の発達に現れる特徴の1つ)であり、教師や保護者より友達を大切に始める時期のこと)のバージョンアップ版だそう。

親も本人もつらいのですが、いざ終えてみると一番大変だったときが、一番楽しかったのではないかな...と思われたそうです。

又、乳幼児期や幼児期の子育てにおいては、もつと周りに頼って良いのだ!と強調されておりました。

頼るのは気が引けるわ...という方が大半なのですが、上手に甘えてみるのも子育てを楽しむ秘訣かもしれませんね。テレビで放送されていないお話もしてくださいました。

高野さんは、6つ上の何から何までトップクラスの姉と比べられて育ったそうです。小学校の運動会は、その頃は小学校と中学校の運動会が同じ日だったそうです。両親に一度も来てもらえなかっただけでなく、お弁当もなかったそうです。

そんな渦中でも非行に走らなかつたのは、家庭以外の周りの人たちが先生たちから、手をかけ、目をかけ、声をかけてもらっていたからだ、と高野氏は言われています。

誰か応援に出来ない運動会には、毎年「作りすぎた」と子どもに恵まれなかった男の先生の手作りのお弁当をもらい、一緒に食べてくれたそうです。辛酸をなめるような高野さんの育ちは、涙なくしては聴けませんでした。最後に高野さんは強調されました。自分の子だけでなく、自分の周りにいる子どもにも、「声をかけ、目をかけ、手をかけてあげてください」と。私たちが今いる場所から、喜々として周りにいる子どもたちの成長も見守っていきたくすね。



編集後記

皆様のご協力のおかげで、平成二十八年度も市P連ニュースを発行することができました。この一年間、市P連活動の様々な活動に参加して頂きました。最初はよくわからないまま活動をしていましたが、参加を重ねるごとに、気づいたことがあります。それは、PTA活動が大勢の人によって支えられているということです。誰もが忙しい毎日の中、「子どもたちのために」という思いをもって、たくさんの方々が活動を支えています。皆さんの活動を企画し運営していただいているということがわかりました。また、私自身様々な方と出合い活動とともに、改めてPTA活動の大切さや素晴らしいさを実感できるよい機会となりました。

この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々にご協力いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。